

2025
5月18日(日)
PM1:00~4:30

申し込み不要

東京の日本語教育 を考えるつどい 2025

外国につながる子どもの激増に直面して
学びの場の多様化を考える

東京しごとセンター

地下2階講堂

千代田区飯田橋3-10-3

資料代:1000円

(学生700円)

外国につながる児童生徒が激増しています。2025年の都立高校の在京外国人等生徒対象入試では、新たに3部制定時制高校4校・計80名定員が増加したものの、倍率は2.1倍と依然高く(前年は1.93倍)、248名もの不合格者が出ました。

小中学校の日本語学級は、設置数が増えつつありますが、令和6年度小学校が12区3市28校、中学校は7区2市13校であり、まだ十分とは言えません。

このようなことから今年の「つどい」では、地域や夜間中学校など多様な学びの場から実情を話していただきます。

●プログラム

13:00-13:25 主催者あいさつ 都議会議員ご挨拶 1年間の取り組み

13:25-13:45 報告1:夜間中学校の現場から

和島直樹さん(葛飾区立双葉中学校夜間学級)

13:45-14:15 報告2:豊島区「みんなつく!」の取り組み

伊藤恵美子さん・松浦和代さん(みんなつく!)

14:15-14:45 報告3:多文化キッズコーディネーター(東京都)の取り組み

鈴木加奈さん(中野区国際交流協会)

14:45-15:00 質疑

----- 休憩 -----

15:10-15:20 お絵かきムービー:

やさしい日本語アニメ「やさしさが、あったから。」

(作:イスグリグ静) 紹介

15:20-15:40 体験発表

アシム ギミレさん(ネパール出身、都立一橋高校卒、自動車整備士)

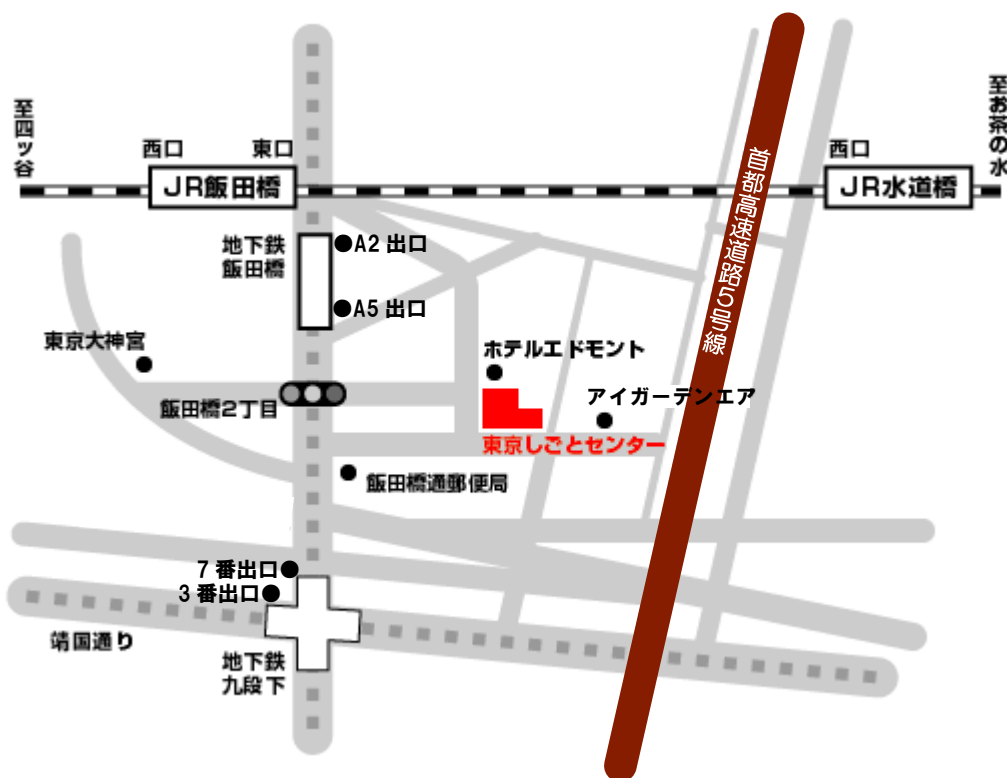
15:40-16:10 全体討論

16:10-16:30 閉会あいさつ・アンケート回収

会場

東京しごとセンター 地下2階講堂

千代田区飯田橋 3-10-3



アクセス

飯田橋から JR中央・総武線 東口徒歩7分
東京メトロ東西線 A5出口 徒歩3分
都営地下鉄大江戸線・東京メトロ有楽町線・南北線 A2出口 徒歩7分

水道橋から JR中央・総武線 西口 徒歩5分

九段下から 東京メトロ東西線 7番出口 徒歩8分
東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線 3番出口 徒歩10分

呼びかけ人（敬称略・順不同）

関口明子（公益社団法人国際日本語普及協会 AJALT）

新居みどり（ピナット子ども学習支援教室）

小池由樹（CCS/世界の子どもと手をつなぐ学生の会）

野山広（国立国語研究所）

李原翔（かながわあーすぷらざ外国人教育相談）

栢木典子（認定 NPO 法人 多文化共生センター東京）

小林普子（NPO 法人 みんなのおうち）

中山真理子（NPO 多文化子ども自立支援センター）

主催

東京の日本語教育を考える会
代表・中山真理子
(090-8103-7497)